PDF版

花粉防御用眼鏡を着用するお子さんによく言い聞かせましょう

① スポーツや激しい運動などをする際には必ず外すよう言い聞かせましょう

花粉の侵入を防ぐためのフレームの張り出しが顔に近いことから、ぶつかったり、転倒などによる激しい衝撃により、目の周りにけがをするおそれがあります。スポーツや激しい運動などをする際には必ず外すよう、お子さんによく言い聞かせましょう。

② 初めて使用する際には視界の変化に十分慣れるようにするとともに、使用時には普段より周囲に注意を払うよう言い聞かせましょう

花粉防御用眼鏡を使用したときは、見えにくい部分が生じ、足元の段差や障害物、左右から接近してくる他人等に気づきにくくなる可能性があります。

初めて使用する際には安全な場所で視界に十分慣れるようにするとともに、使用するときは普段より周囲に注意を払うよう、お子さんによく言い聞かせましょう。

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。
http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。
http://www.kokusen.go.jp/

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、
被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。
特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。
商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。
無断転載はお断りいたします。

独立行政法人
国民生活センター
〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1　TEL.042(758)3165　●2014年３月発行
イラスト＝川崎　敏郎

くらしの危険

Number 318

花粉防御用眼鏡による子どものけがにご注意

花粉防御用眼鏡は、花粉が目に入ることを防ぐため、フレームの張り出しが通常の眼鏡より顔面に近くなっています。

そのため、子どもが着用時にぶつかったり転倒したりすると、顔にけがをすることがあるので、激しい運動をする際には、花粉防御用眼鏡を外させるなどの注意が必要です。

花粉防御用眼鏡着用時の子どもの事故

医療機関ネットワーク*1やPIO-NET*2には、花粉防御用眼鏡を着用した子どもが運動中や遊んでいるときなどにぶつかったり転ぶなどして顔をけがしたという事故の情報が寄せられています。いずれも5歳から10歳の子どもで、中には目の周りを縫うけがを負ったという事例もみられました。

＊1　生命または身体に被害を生じる消費生活上の事故情報を参画医療機関から収集し、国民への注意喚起などに活用することを目的として実施している事業。消費者庁と国民生活センターの共同事業であり、2010年12月より情報収集を開始した。

＊2　国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する情報を蓄積しているデータベース。

PDF版

こんな事故が起きています

ケース1 運動中にぶつかったとき

７歳男児の花粉症がひどいので、ドラッグストアで花粉防御用眼鏡を購入した。翌日学校に着用して行ったが、体育の授業中に他の児童が走ってきて顔面にぶつかり、眼鏡の縁で左目の上を6cmくらい切り８針縫った。眼鏡の縁がゴムで覆われておらず、幅もせまい。（７歳、男児）

ケース2 公園で遊んでいるとき

子ども用の花粉防御用眼鏡を着用して公園で遊んでいた。ブランコで座ってこいでいる状態から立とうとしたところ、手を滑らせて前向きに落ち、眼鏡がまぶたに食い込んだ。左上まぶたに5針縫うけがをした。（５歳、男児）

ケース3 登校中に転んだとき

花粉症の７歳の子どもに花粉防御用眼鏡を購入した。それをかけて登校中に転んで眼鏡と顔が接触し、縁でまぶたの上を切ってしまった。病院で12針縫う処置をされた。（７歳、男児）

ケース4 学校で掃除をしているとき

７歳の娘に、花粉防御用眼鏡をインターネット通販で買って着用させていた。学校の掃除の時間に、雑巾がけをしていてつまずき顔から落ちて、眉の所を少し切り、目の近くに打撲痕ができ目が充血した。（７歳、女児）

子どもの転倒を想定した模擬皮膚への衝撃試験、着用時の視界の変化についてのテストを行いました

テスト結果

●衝撃試験

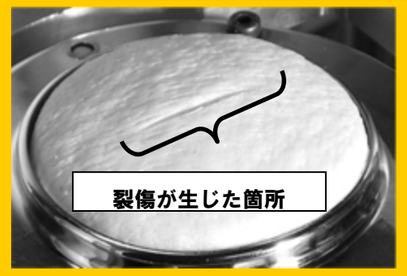
試験装置

（協力：独立行政法人産業技術総合研究所）

花粉防御用眼鏡のフレーム張り出し部分の材質（硬質樹脂と軟質樹脂）について、小学校低学年（６歳児相当）の子どもが転倒したときの衝撃を想定し、模擬皮膚（豚の皮膚を使用）に裂傷が生じるかどうかを調べました。

その結果、硬質樹脂による衝撃では、全ての条件で模擬皮膚に裂傷が生じました。一方、同じ条件での軟質樹脂による衝撃では、軟質樹脂が変形し、模擬皮膚に裂傷は生じませんでした。

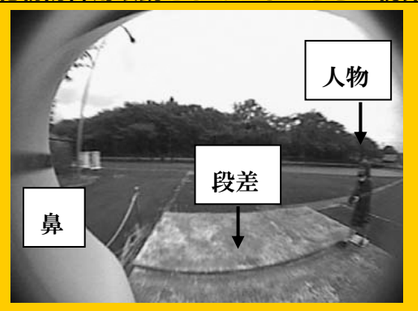
衝撃試験の結果（衝突速度1500mm/s）（左：硬質樹脂　右：軟質樹脂）



●視界の変化について

花粉防御用眼鏡は、通常の眼鏡に比べ、フレームの周囲が顔面に向かって張り出す構造になっています。そこで、８銘柄について視界の変化を調べたところ、フレームの張り出しにより、視界の周囲に見えにくくなる部分が生じることがわかりました。

花粉防御用眼鏡をしていないときの視界



花粉防御用眼鏡をかけたときの視界

※身長120cm(6歳児相当)の位置に設置した頭部マネキンの右目部分に小型カメラ(画角約140度)を取り付けて検証したもの。